

社地域小中学校出前授業を紹介します(社中教員→三草小 三草小教員→社中)

社地域小中学校の出前授業を紹介します。出前授業とは、小学校教員が中学校へ、あるいは中学校教員が小学校へ出向き授業を行う取組です。小中一貫校開校へ向けて、小中学校の教員が協力し合って授業づくりをすることで、子どもたちの学ぶ意欲を高めています。社地域の小学校と社中学校との間で毎年実施しています。今年度は、社地域の2小学校(輪番)と社中学校との間で実施しています。今回は、10月と11月に実施された三草小学校と社中学校の教員間の出前授業を紹介します。

〈社中・三草小教員→三草小児童への授業〉

10月11日(水)に、社中学校の教員が三草小学校の教員と共に三草小学校6年生に国語の授業を行いました。授業のねらいは、児童が語句の由来に関心を持ち、古語と現代語の意味の違いを理解し、言葉が時間の経過によって変化していることに気付くことでした。

はじめに、中学校教員から、中学生が普段の授業で活用している自己評価カードが配布されました。カードには、挙手や発表の回数を記録する欄や本時の学習内容や振り返りを書く欄が設けられており、児童は中学生になった気分で授業に臨みました。



小中教員が共同で授業

まず、児童は、今まで聞いたことのある古語をワークシートに記入しました。児童は、普段音読で利用している詩集から、「つとめて、わろし、あけぼの」の古語を見つけ、意欲的に発表しました。次に、教員から現在でも使われている「きりぎりす」「あした」「そこら」「おどろく」「うつくし」等の古語を提示し、児童に昔の意味を想像させました。この場面でも、教員の問いかけに、児童は、意欲的に意味を想像しました。古語の意味を想像する学習を通して、児童は、言葉が時代の経過とともに意味が変化してきたことに気付きました。

最後に、児童は、席のとなり同士で、下記の古語の中から好きな言葉を選び、意味の違いを考えて古語と現代語のそれぞれで短文をつくりました。児童は、昔と今で異なる意味をもつ言葉で文をつくることで、意味の違いをよりはっきりと感ずることができました。

きりぎりす・・・(昔) こおろぎ	→ (今) きりぎりす
あした・・・(昔) 朝 翌朝	→ (今) あした
そこら・・・(昔) 非常に たいそう 多く	→ (今) そのへん
おどろく・・・(昔) 目が覚める	→ (今) おどろく
うつくし・・・(昔) かわいい いとしい	→ (今) うつくしい



タブレットで全員の意見を共有

授業後には、児童から「今日の授業は、国語の言葉の変化でした。今の言葉と昔の言葉の意味が全然違うことにびっくりしました。自己評価表を書くことで中学校での勉強方法がよく分かりました。中学校での勉強をがんばりたいです。」という感想が寄せられました。古文への関心が高まり、中学校での学びに期待が膨らむよい機会になりました。

〈三草小・社中教員→社中生徒への授業〉

11月29日（水）に、三草小学校の教員が社中学校教員と共に社中学校2年生に数学の授業を行いました。授業のねらいは、三角形の内角の和が 180° になることから、三角形の内角と外角の関係を理解し、それらを利用して、角の大きさを求めることでした。

はじめに、小学校教員が、右の図のように、5年生のときに習った三角形の3つの角の大きさについて、三角形の3つの角を合わせたり、合同な三角形を横にしきつめたりして、3つの角の和が一直線になること（ 180° になること）を、生徒に分かりやすく説明しました。この説明によって、生徒は、既習事項を思い出すことができ、本時のねらいである「三角形の角の性質を使って角度を求める」ことへの意欲が高まりました。



小中教員が共同で授業



小学校で習った三角形の3つの角の和の復習

その後、中学校教員が、どの三角形でも3つの角の和が 180° になることを確かめるために、右の図のように、三角形の一辺に平行となる線を引き、平行線の性質である錯角、同位角を使って生徒に考えさせました。その際、小学校教員が示した角○と角●を1か所に集めることで、三角形の3つの角の和が 180° になることをスムーズに理解させることができました。また、三角形の外角の性質である「三角形の1つの外角は、そのとなりにない2つの内角の和に等しい。」ことを理解させる際にも、上の図の赤色で示した外角が、そのとなりにない角○と角●の和になっていることに気付かせるよい手立てになっていました。



導入を生かした外角の性質の学習

授業後の振り返りでは、生徒から「小学校の算数で習ったことを復習したことで、今やっている数学と結び付けることができるとても良かったです。」という感想が寄せられました。

出前授業では、小学校教員は、小学校で学ぶ内容が中学校にどうつながっていくのかを、中学校教員は、中学校で学ぶ内容が小学校で学んだこととどうつながっているのかを意識して授業を進めています。社学園では、1つの職員室で、小中学校の教員が、授業で感じた児童・生徒の学びの姿を語り合ったり、共に協力しあって教材研究をしたりすることが期待されます。

社地域小中一貫校建設工事の進捗状況をお知らせします

令和7年4月開校予定の社地域小中一貫校の建設工事の進捗状況をお知らせします。現在、増築校舎棟・交流棟・体育館棟建設、小グラウンド、テニスコート、プール整備等を行っており、工事進捗率は、11月30日時点で、60.0%となっています。なお、体育館棟は令和5年12月末に完成予定です。



体育館棟 外装仕上げ状況



交流棟 工事状況



テニスコート整備状況 6面中4面整備済